

JMoF実行委員会 活動報告書

2024年7月～2025年6月

1. 活動の成果

2025年1月10日（金）～12日（日）、3日間の会期でJMoF 2025を開催した。前代表の退任に伴い選出された新代表／副代表を含む新体制で開催する初めてのJMoFとなったが、開催当日は運営上の大きなトラブルもなく、盛況のうちに全日程を終えることができた。参加登録者数は前年から約2割増の2417人と前年に続いて過去最高を記録したほか、声優のゲスト・オブ・オーナー招聘や、アニマルアート展示企画の実施といった、これまでになかった試みを実現することができた。とりわけゲスト・オブ・オーナーの山口勝平（やまぐち かっぺい）氏は一般からの知名度も高く、トークショー／サイン会企画は多数の参加者で賑わった。

また、VR JMoF 2025をJMoF 2025と同日の1月10日（金）～12日（日）に、VRアフターパーティを2025年1月25日（土）に、ともにVRChatとResoniteをプラットフォームとして開催した。例年は運営体制の準備も兼ねてprologueという形でJMoFおよびVR JMoFに先立って開催していた別日のイベントを後日イベントとした形だが、JMoFやVR JMoF当日を振り返る形の企画を実施し、こちらも多くの参加者で賑わった。

年度全体を通しては、JMoF 2025 およびVR JMoF 2025の開催に係る収支を除いて大きな支出・収入はなかった。JMoF 2025の参加者増が想定を上回ったことによる参加費収入の増加の影響で、本年度は収入が支出を上回る結果となった。参加費総額の5%およびラッフルを対象とする豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）への寄付額は3,912,300円と、こちらも過去最高の金額となった。

2. 財産および損益の状況

(1) 貸借対照表

貸借対照表			
流動資産	25,067,237	流動負債	2,790,200
		純資産	22,277,037
資産合計	25,067,237	負債・純資産合計	25,067,237

(2) 損益計算書

損益計算書		
売上高	42,965,097	
売上原価・販管費及び一般管理費	18,059,529	
	営業利益金額	8,552,389
営業外収益	109,597	
	経常利益金額	8,661,986
	税引前当期純利益金額	8,661,986
	法人税、住民税及び事業税	2,059,200
	当期純利益金額	6,602,786

3. 今後の方針

新型コロナウイルス感染症に関する行動規制の緩和が進んだここ数年、国内外のケモノ／ファーリー文化の規模は拡大の一途を辿っている。英語での情報発信を行い、日本国内のみならず海外から積極的に参加者を受け入れているJMoFおよびVR JMoFは、国内の他のケモノ関連イベントと比較してもとりわけその影響を大きく受けている。

財務状況については、JMoF参加者数の増加によって収入がおおむね安定していることは、継続的なイベントの開催という観点からは好材料である。その反面、各支出項目にはここ数年の物価上昇の影響が表れるようになっている。参加者の多様な活動を受け入れ、数々の挑戦的な活動を実現することができるようなコンベンションの環境整備のためには積極的な支出が必要となるため、適切な参加費の設定と併せて収支のバランスを引き続き検討してゆく。

加えて、人員の収容および安全確保は、特に実会場でのコンベンション実施にあたって避けがたい課題となりつつある。今後もJMoFの参加者数が増加することが想定される場合、何らかの対策を講じる必要が生じる可能性は高く、その場合にはJMoFやVR JMoFのあり方それ自体が問われることとなる。

他方、新体制となったJMoF実行委員会の活動が軌道に乗ったことは、継続的な運営という観点からの好材料であるとともに、新たな挑戦の契機でもある。さまざまな可能性を模索しながら、当会は今後もコンベンションの運営を通じてケモノ文化のさらなる発展に貢献してゆく所存である。

以上